

# 学 校 調 査

## 1 小学校

〔 - 1 - 1表〕

主 要 指 標 の 推 移

年 度	学 校 数		学 級 数		児 童 数		教 員 数 (本 務 者)		1 学 級 当 た り の		教 員(本 務 者) 1 人 当 た り の	
		対前年 増減数		対前年 増減率		対前年 増減率		対前年 増減率	児 童 数	対前年 増減数	児 童 数	対前年 増減数
	校		学 級	%	人	%			人			
平成 1 1	1,059	1	16,749	0.7	490,741	1.4	24,120	1.7	29.3	0.2	20.3	0.1
1 2	1,058	1	16,553	1.2	484,963	1.2	23,815	1.3	29.3	0.0	20.4	0.0
1 3	1,058	-	16,553	-	484,045	0.2	23,785	0.1	29.2	0.1	20.4	0.0
1 4	1,056	2	16,681	0.8	484,928	0.2	24,070	1.2	29.1	0.2	20.1	0.2
1 5	1,057	1	16,900	1.3	489,032	0.8	24,293	0.9	28.9	0.1	20.1	0.0
国 立	3	-	54	-	2,109	0.3	73	1.4	39.1	0.1	28.9	0.3
公 立	1,038	-	16,631	1.3	479,631	0.8	23,887	0.9	28.8	0.1	20.1	0.0
私 立	16	1	215	2.9	7,292	1.4	333	5.0	33.9	0.5	21.9	0.8

### (1) 学 校 数

ア 学校数は1,057校で、前年度より1校増加している。〔 -1-1表〕

イ 設置者別では、国立3校（構成比0.3%）、公立1,038校（同98.2%）、私立16校（同1.5%）で、公立で1校新設・1校廃止、私立で1校新設となっている。〔 -1-1表〕

ウ 市町村別では、大阪市313校、堺市92校、東大阪市55校の順に多く、田尻町1校、忠岡町・太子町2校の順に少ない。〔統計表1〕

エ 都道府県別では、北海道1,468校、東京都1,404校、大阪府1,057校の順である。

〔付表-5〕

### (2) 学 級 数

ア 学級数は1万6900学級で、前年度より219学級増加している。〔 -1-1表〕

イ 設置者別では、国立54学級（構成比0.3%）、公立1万6631学級（同98.4%）、私立215学級（同1.3%）である。〔 -1-1表〕

ウ 学級編制方式別では、単式学級1万5232学級（構成比90.1%）、複式学級24学級（同0.1%）、75条の学級1,644学級（同9.7%）である。〔 -1-2表〕

エ 市町村別では、大阪市4,504学級、堺市1,513学級、東大阪市953学級の順に多く、田尻町14学級、千早赤阪村23学級、忠岡町34学級の順に少ない。なお、増減数では府内全体で219学級増加しており、大阪市48学級、堺市22学級、吹田市14学級の順に増加し、東大阪市・河内長野市4学級、豊能町3学級、阪南市2学級の順に減少している。〔統計表1・付表-7〕

〔 - 1 - 2表〕 学級編制方式別学級数・児童数

年 度	総 数		単 式 学 級		複 式 学 級		75条の学級	
	学 級 数	児 童 数	学 級 数	児 童 数	学 級 数	児 童 数	学 級 数	児 童 数
	学級 人							
平成 1 1	16,749	490,741	15,320	485,641	21	185	1,408	4,915
1 2	16,553	484,963	15,119	479,560	19	154	1,415	5,249
1 3	16,553	484,045	15,073	478,370	18	141	1,462	5,534
1 4	16,681	484,928	15,113	478,795	22	189	1,546	5,944
1 5	16,900	489,032	15,232	482,412	24	214	1,644	6,406

## (3) 児 童 数

ア 児童数は48万9032人で、前年度より4,104人(対前年度0.8%)増加している。

〔 -1-1表・ -1-4表・付表-1〕

イ 設置者別では、国立2,109人(構成比0.4%)、公立47万9631人(同98.1%)、私立7,292人(同1.5%)である。

〔 -1-3表〕

ウ 学級編制方式別では、単式学級48万2412人(構成比

98.6%)、複式学級214人(同0.0%)、75条の学級6,406人(同1.3%)である。〔 -1-2表〕

エ 男女別では、男子25万617人(構成比51.2%)、女子23万8415人(同48.8%)である。

〔 -1-3表〕

オ 市町村別では、大阪市12万6583人、堺市4万4502人、東大阪市2万8538人の順に多く、千早赤阪村319人、田尻町397人、岬町946人の順に少ない。なお、対前年増減数では、大阪市560人(対前年0.4%)、堺市536人(同1.2%)、枚方市324人(同1.4%)の順に増加している。

〔統計表2・付表-7〕

カ 都道府県別では、東京都56万7216人、大阪府48万9032人、神奈川県46万9215人の順である。

〔付表-5〕

〔 - 1 - 4表〕 学 年 別 児 童 数 の 推 移

年 度	総 数	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
	人						
平成 1 1	490,741	81,819	80,770	80,147	80,179	83,691	84,135
1 2	484,963	80,097	81,439	80,329	79,823	79,844	83,431
1 3	484,045	84,179	79,759	80,997	80,028	79,501	79,581
1 4	484,928	81,706	83,873	79,327	80,873	79,817	79,332
1 5	489,032	84,142	81,470	83,767	79,107	80,781	79,765

キ 1学級当たりの児童数は28.9人で前年度より0.2人減少している。また、市町村別では、忠岡町31.6人、泉大津市30.7人、藤井寺市・河内長野市30.4人の順に多い。

〔-1-1表・付表7〕

ク 教員（本務者）1人当たりの児童数は前年度と同じ20.1人で、市町村別では、太子町、枚方市、泉大津市21.7人、寝屋川市21.6人の順に多い。

〔-1-1表・付表-7〕

ケ 帰国子女数は271人である。〔-1-5表〕

コ 外国人児童数は6,654人である。

〔-1-6表〕

〔-1-5表〕 帰国子女数

年 度 間	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全国総数
平成14	271	28	42	54	45	53	49	6,389

〔-1-6表〕 外国人児童数

年 度	総 数	国 立	公 立	私 立
平成15	6,654	36	6,319	299

（4） 長期欠席者数（平成14年度間）

30日以上の長期欠席者数は6,539人で、前年度間より501人（対前年度間7.1%）減少している。理由別では、病気3,413人（構成比52.2%）、経済的理由4人（同0.1%）、不登校1,967人（同30.1%）、その他1,155人（同17.7%）である。

長期欠席者数が全児童数に占める割合は1.35%で、前年度間より0.1ポイント下がっている。全国平均は0.94%で、大阪府が0.41ポイント上回っている。〔-1-7表・付表-2〕

〔-1-7表〕 理由別長期欠席者数の推移

年 度 間	総 数	全児童数 に占める 長欠者率	欠 席 理 由			
			病 気	経 済 的 理 由	不 登 校	そ の 他
平成10	6,904 (3,268)	1.39 (0.66)	4,199 (1,360)	12 (8)	1,472 (1,182)	1,221 (718)
11	6,664	1.36	3,802	8	1,745	1,109
12	7,035	1.45	4,025	5	1,839	1,166
13	7,040	1.45	3,942	6	1,829	1,263
14	6,539	1.35	3,413	4	1,967	1,155

（注1）上段は30日以上の長期欠席者数、（ ）内は50日以上の長期欠席者数である。

（注2）平成11年度間からは「50日以上」の調査がなくなり、「30日以上」のみとなっている。

（5） 教員数（本務者）

ア 教員数（本務者）は2万4293人で、前年度より223人（対前年度0.9%）増加している。

〔-1-1表・付表-1〕

イ 設置者別では、国立73人（構成比0.3%）、公立2万3887人（同98.3%）、私立333人（同1.4%）である。〔-1-1表〕

ウ 男女別では、男子7,631人（構成比31.4%）、女子1万6662人（同68.6%）である。〔統計表5〕